

## 会 議 録

1 会議名	第2回 南砺市社会教育委員会
2 議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告事項</li> <li>(1) 令和7年度社会教育委員会に関わる補正予算概要について</li> <li>(2) 令和7年度南砺市教育委員会表彰の受賞者について</li> <li>(3) 令和8年南砺市二十歳の集いの出席状況とアンケート結果について</li> <li>(4) 公共施設の再編等に伴う条例改正について</li> <li>(5) ネーミングライツ・パートナー契約施設について</li> <li>(6) FIS フリースタイルスキーワールドカップ 2026 富山なんと大会</li> <li>(7) 南砺市立図書館の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>①「なんと読書シティ」への挑戦について</li> <li>②ブックリサイクル『なんとRe本』について</li> <li>③図書館ボランティア「なんとブックラブ」の募集について</li> </ul> </li> <li>・ その他</li> <li>(1) 当面の主な行事予定について</li> </ul>
3 開催日時	令和8年2月10日(火) 午後2時45分から午後3時45分
4 開催場所	南砺市役所本館 3階 302会議室
5 会議出席者	<p>南砺市社会教育委員 出席10人/全14人</p> <p>委 員：武田和一(委員長)、岩井透(副委員長)、横山一乃、山崎賢治、小松敬子、北島一朗、山田与志信、今川浩美、高瀬敏一、秀永ゆかり</p> <p>事務局：教育長、生涯学習スポーツ課長、中央図書館長、教育総務課長、こども課子育て応援係長、文化・世界遺産課文化振興係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係主事</p>
6 欠席者	委員：中川昇、武田隆啓、酒井由美子、橋本正俊
7 傍聴者	無し
8 議事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会 高堂生涯学習スポーツ課係長</li> <li>・ 開会あいさつ 武田委員長</li> </ul> <p>お足元の悪い中、第2回南砺市社会教育委員会にご出席いただきありがとうございます。各委員におかれましては、先般1月の二十歳の集いにご参加いただきありがとうございます。年々子どもたちが減ってくることを寂しく思いながら拝見させていただきました。それもまた仕方のないことかなと思っております。それから、先般2月初めからの全国中学スキー選手権大会、全国高校スキー選手権大会において、南砺市の子どもたちが非常に躍進し、活躍して上位に食い込んでおりました。非常に南砺市民に強い力を与えてくれた</p>

のではないかなと思っています。ましてや先日、2、3日前にはミラノオリンピックで山崎大翔選手が初出場ということで、成績は自分でも納得できたようなインタビューをされておりました。南砺市の子どもたちが非常に活躍している中、今後ますます社会教育のほうは高齢化していきませんが、どうしたら南砺市が盛り上がるかなということを考えていただきながら、またご審議いただければいいかなと思います。今日は報告事項のみになりますが、スムーズな進行にご協力よろしくお願ひいたします。

・ 進行

武田委員長

・ 報告事項

(1) 令和7年度社会教育委員会に関わる補正予算概要について  
事務局：(資料1に沿って説明)

(2) 令和7年度南砺市教育委員会表彰の受賞者について  
事務局：(資料2に沿って説明)

(3) 令和8年南砺市二十歳の集いの出席状況とアンケート結果について  
事務局：(資料3に沿って説明)

● 質疑応答

(1) 令和7年度社会教育委員会に関わる補正予算概要について

委員：資料1の教育総務課中学校施設整備費井波中学校体育館空調設備整備事業で約1億円の予算がついているが、南砺市全体で今後の見通しはどうなっているか教えてほしい。

事務局：今回、避難所という意味合いの交付金となるため、各地域に1箇所ずつは整備することを考えている。今回の井波地域については、井波中学校は当面学校統合を行わない方針ということで、まず井波中学校を整備した。福野地域については、学校体育館ではないが、社会体育館に既に空調が設置されているため、来年度は福光と城端の学校統合が決まったところに整備を考えている。福光については、吉江中で考えており、城端については、統合が決まり次第となる。その後、それ以外の井口であったり、平・上平等を順次整備して、その後、中学校の整備が完了すれば、その次、小学校というような流れで考えている。福野についても、小中のどちらか、原則部活動等もあるので中学校が先という考えではいるが、福野についてもタイミングを図りながら導入を進める。

(3) 令和8年南砺市二十歳の集いの出席状況とアンケート結果について

委員：資料3の二十歳の集いだが、利賀の出席数が0人であったことは残念であったかもしれないが、0人であるから出席率は記載しなくてよいと思う。オンラインアンケートについても、今後大きなことをやっていこうとするには回答率が寂しいのではないか。オンラインは、回答する方にしてみれば簡単に回答できるものだと思う。回答期限が12月15日と式典の事前となっているが、式典後であれば、出席してみたらやっぱり意見が変わったということもあると思う。今後大きな動きになるのならば、アンケートの取り方を変えてみてもいいのではないかと考える。

事務局：今年度から参加者の皆さんとLINEで連絡を取り合っているため、現在も繋がっている。今年の出席されたことを踏まえてもう一度アンケートの内容も検討し、実施してみたい。

委員：アンケート最後のその他の要望に、「小中学生の恩師の話を聞きたい」とある。その逆の人もおられるかもしれないが、各会場のプログラムがあり、私は城端会場に出席したが、今回いつもより出席された恩師の先生方にマイクを上手に回すことができていた。式典の後の祝賀会にも出席されるとか柔軟に考えられるともっとできると思う。

委員：福野地域に出席したが、福光地域の二十歳の集いの内容を聞くと、若い方が自分の近況を短く話して、南砺市のために将来貢献したいとか聴いている人が明るい気持ちなる、二十歳の子がこの地域や色々なところで頑張らんなんという声を聴けて本当に良かったという話を聞いた。各地域でやっているとは思いますが、子どもたちの声を聴く機会があれば、まわりの子どもたちも頑張ろうとか、地域の方々も若い人も頑張ってくれているなど思えていいなと思うので、二十歳の子が時間の範囲内で自分をお話する機会があればいいなと思った。

委員長：福野地域は元々なかったのか？

委員：福野地域は、小中学生の頃のビデオが流れていた。それも感動するが、今の子どもたちの発表がまたいいなど。

委員長：今年の福光は、ビデオレターを流して、先生が話しして、子どもたちが話しての流れだった。代表で8人ほどが登壇する。

事務局：いただいた意見を基に、各地域の運営者が集まったときには、毎年の形にとらわれず、こういうのがあったらいいよと議案を伝えながら、二十歳の子たちがみんな考えていけるように裏から支えていくようにしていきたい。

委員：二十歳の集いのアンケートは毎年とるのか。今の二十歳の子たち

はちょうど南砺市が生まれたときの子どもたちであり、どれだけ旧町村のことを思っているかの現れだと受け取った。一方で、この20年で、例えば部活動や様々なところで子どもも保護者も交わるようになった。どんどん地域の垣根が良い意味でなくなってきたと思うので、アンケート自体とることが良いかはわからないが、何年かごとに数字を追っていくと、子どもたち自身もまとまっていくほうに少しずつ変わってくれたら嬉しい。そういった分析の仕方もよいかと思います提案する。

事務局：引き続き、データを取りながら進めたい。いずれは一箇所にすることも必要だと考えてはいる。ただ、旧市町村単位、学校単位でそれぞれ幼少期から過ごしてきた仲間と再会するチャンスということが大きな意味を占めていると思う。一箇所開催を検討しつつ、それに囚われないような形でしっかりと対応できるような方法も考えていかなければならない。

委員：おそらく、二十歳の集いの式典とその後別の場所でお酒を含めて懇親される場があると思うので、全体は一箇所にしてその後は別にしたりとすれば、もしかすると早い段階で話がまとまるのかもしれない。

事務局：一箇所での開催とするには、仰られたようにすべきと考えている。

委員長：施設の収容人数の問題もある。子どもたちの今後の人数の推移も社会教育委員会で提示していただければいいかなと思う。7、8年前にも一度検討しているが、時期尚早だという話となりそのまま現在まで今の形で続いている。

事務局：教育委員会としては、アンケート結果から、すぐ来年から一箇所開催という気持ちはまだない。もう少しデータをとり意識の変化を見てからではないかと思っている。

(1) 令和7年度社会教育委員会に関わる補正予算概要について

委員：資料5ページの給食費について2つ教えていただきたいが、1つは、3月分の給食費をすべて市でみていただけることはどういった考え方でやるに至ったか教えてほしい。2つめは、来年度について、国のほうで小学校は無償化という話も聞こえてくる中で、今考えていることがあれば教えてほしい。

事務局：3月分の給食費については、国の物価高対策の交付金の中で、できるだけ早く執行できるものということで給食費が挙げた。当初は、2月、3月でやりたいと思っていたが、普段の給食費は年度末に精算を行っている関係もあり、2月は難しく、3月分だけを小中ともに全額負担で要求した。来年度については、国のほうで小学校は無償化となっているが、国の基本基準額は南砺市から

すると大変低い額となっている。全国的には平均額といわれているが、南砺市は自校炊飯であったり、地域食材など食材費の高い給食を提供しているため、基準額を非常にオーバーする。そのオーバー分は市が負担する方向で進んでいる。具体的なことは後日、当初予算の発表ではっきりしたことはお伝えするが、現時点ではそういう方向で進んでいる。ただ、中学校に関しては、国の無償化はないため、従来通り保護者負担を求めるが、高騰分に関しては市が負担する方向で話は進んでいる。

・ 報告事項

(4) 公共施設の再編等に伴う条例改正について

事務局：(資料4に沿って説明)

(5) ネーミングライツ・パートナー契約施設について

事務局：(資料5に沿って説明)

(6) FIS フリースタイルスキーワールドカップ 2026 富山なんと大会

事務局：(資料6に沿って説明)

(7) 南砺市立図書館の取組みについて

事務局：(資料7に沿って説明)

● 質疑応答

(7) 南砺市立図書館の取組みについて

委員：除籍本は毎年発生するのか。

事務局：はい。毎年新作本を購入し、棚が限られているため、昨年で大体1万冊近くほど除籍している。

委員：除籍された本は、今まではどうなっていたのか。

事務局：今までは、古紙回収で処分し、全く読まれない本となっていた。

(5) ネーミングライツ・パートナー契約施設について

委員：資料5のネーミングライツの3番の城南Li Star スタジアムだが、令和7年9月1日から契約ということだが、モーグルワールドカップのチラシの裏には城南スタジアムとなっている。クレーム等は受けてないのか。また、愛称と正式名称を併記するのは何年ほどを想定してるか。

事務局：ワールドカップのチラシについては、全日本スキー連盟が作成したため市では対応ができなかった。施設の愛称については、ある

程度定着するまでは併記するというところで、特にいつまでと決まっているわけではないが、1年程度は必要と考えている。かけ離れた名前の施設は今のところはなく、ネーミングライツの審査をしていただくときも考慮いただきたいと伝えてきた。広告媒体であるため、愛称をしっかりと使って引き続き支援していただけるよう進めていきたい。

(4) 公共施設の再編等に伴う条例改正について

委員長：資料4の条例改正だが、休止と表記のある対象施設はこれから休止になるということで分かるが、無償貸付と表記がある施設は何から無償貸付になったのか。

事務局：すべての施設が基本休止となるが、その中で既に貸付の協議がある程度まとまっている施設に対して無償貸付と表記している。

・その他

(1) 当面の主な行事予定について

事務局：(資料9に沿って説明)

・閉会のあいさつ 岩井副委員長

今日は社会教育委員会でしたが、学校教育がどうしても気になります。いわゆる学校の統廃合のことです。地域では、学校がなくなれば地域がなくなるとか地域が廃れると強く意見を述べられる方をよく見受けられます。私は、そう考えるしかないような方々が多いから、保護者となるような年齢の方やそして子どもたちがいなくなっていくのもひとつあるのではないかと思っています。これからは、賑やかな子どもがたくさんいて、家庭が明るく社会が穏やかであったことが当たり前前のときの社会教育ではなく、少ない友達、そしてその親の世代、そして高齢者等が本当に元気でやっていけるような社会の中での社会教育を今後目指していかなければならないのではないかなと思っています。どうか委員の皆様、今後ともまたよろしく願いいたします。

・教育長あいさつ 松本教育長

	<p>今年度も2回にわたり委員を務めていただきありがとうございます。今、図書館も変わりつつあり、学校も変わりつつあります。岩井副委員長が言われたように、これからどうしていけばいいか手探りの状態ですが、また皆様からのお知恵を借りて、これからも明るい社会教育になるように、学校教育になるようにまた努めてまいります。どうか皆様、ご協力よろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p>
--	--